

# ナイルの船旅

水沢澄夫

アブ・シンベル (ABU-SIMBEL) は、ニニニ三年末、  
新にとつて一つの心願の地であつたかのよう  
ういある。

よこは、中国で言えば、敦煌といふところ  
歴史的・地理的条件をよなえた古代遺跡で、

ラムセス二世 (紀前1298~1232) によつてエジ  
プトの南の果スーダンとの国境まで四五十キ  
ロにすかぬ地点に構築されたナイル沿岸の岩  
窟神殿である。大河にせまつてもえり立つ砂  
岩の山を掘り込んで、ラムセス二世とよの妃  
ネフェルタリとの二つの神殿がつくられたとい  
ふ。通称、前者を大神殿、後者を小神殿と呼ん  
でいるが、同じく西岸の山つづみに七八十メ  
ートルへがえん、両神殿はある。南に位置す  
る方が大神殿である。